

審査の結果の要旨

氏名 柏原 沙織

本論文は、ハノイ旧市街に顕著にみられる通りごとの職業集中（これを本論文では「職業の通り」と呼んでいる）に関して、その形成と変容のプロセスを地区レベルで解明し、そのメカニズムを明らかにすることを通して、職業の通りの文化遺産としての価値を再定義し、ハノイ旧市街の今後のマネジメントに向けた示唆を得ることを目的としている。

論文は、研究の背景と目的を明らかにした序章に続いて、第1章において既往研究および新発見の統計資料からハノイ旧市街の職業の通りの成立を整理している。

第2章では、行政文書、既往研究および新規のインタビューを通して、ハノイ旧市街の文化遺産のうち、無形要素保全の仕組みとその発展過程を明らかにしている。

続く第3章と第4章は、主として複数回の現地調査およびインタビューによってハノイ旧市街の職業の通りの変遷とそこにおける同業者集積のプロセスを詳細に明らかにしている。第3章では、植民地期以前から現在までの10時点における職業の集積状況を初めて詳細に明らかにし、同業者集積のプロセスを4類型に分類している。さらに、職業の名称がつけられている通常の通りの名前と職業集積の実態を比較して、現在まで通り名と職業集積の実態が同じである通りは全体の9%にとどまることを実証的に明らかにしている。また、職業の通りにおける同業者集積の変化類型を集積の強度と速度によって7つに分類し、従来の職業の通りとしての文化遺産的価値をさらに拡大する論理的な裏打ちを行っている。

第4章では、同業者集積の維持および再生産メカニズムを明らかにするために、3つの通りに関して、詳細な実地調査を実施した結果が考察されている。その結果、職業の通りの同業者集積転換メカニズムに関して、製造形態と町家のスケールに依存した選択のあり方、現代的要素の取り込みの有無、ブランドの確立期から淘汰のプロセスに関して、詳細な検討をもとに新しい仮説を提起している。

結論を述べる第5章において、①職業の通りにおける同業者集積の変化の強度と速度の象限における二元論によって歴史的な価値に関する評価軸を設定することの妥当性を明らかにしている。続いて、②同業者集積の脆弱性と観光化による価値の変質の兆候を明らかにし、地区マネジメントの必要性を導き出している。さらに③職業の通りのマネジメントに向けた示唆として、商業活動への介入に向けた変化の許容の目安を実証的に示しているほか、職業の通りを支える有形要素との関連を明らかにしている。

以上、要するに、本論文は、新発見の統計資料と詳細な現地踏査をもとに、ハノイ旧市街

における職業の通りの価値の再定義をおこない、同業者集積の変化類型に関する枠組みを実証的に提起し、その転換メカニズムを構築し、ひろく都市遺産マネジメントのあり方に有用な示唆をもたらしている優れた論文として高く評価することができる。

よって本論文は博士（工学）の学位申請論文として合格と認められる。